

広報 JINRYUHO

第 20 号

発行所 黒埼村役場
発行人 清水善夫
印刷所 小野塚印刷



〔文化財史料館〕 武田家の復元工事急ピッチに進む

〈村の動き〉

10月 末現在

人 口	17,346	人
男	8,494	人
女	8,852	人
世帯数	3,858	
10月1日から10月31日まで		
死亡	3	
出生	22	
婚姻	23	

文化財史料館の

建設工事急ピッチ

木場の武田源助邸を復元し、文化財史料館として、文化財審議委員会が発足すると同時に民具その他、いろいろな史料を収集し、広く村民の方から文化財等に対する知識を深めていただくためにもと知る九月末日から着工した文化財史料館建設工事が現在着々と進んでいる。これが完成すると県内でもめずらしく、また貴重な館として村外からも多くの見学者が予想される。

上水道第一回拡張工事

給水量一人一日五百ℓを目標

本村上水道事業は昭和三十二年に創設、計画給水戸数二、九九戸一日最大給水量三三〇〇ℓとして給水を開始したが、その後の経済発展及び都市近郊地帯として中小企業並びに住宅の建設が目立ち昭和三十八年以降新産業都市区域に

編入等により都市化現象が急速に進み、却て生活文化の向上により水道の需要が増大し計画一人一日最大給水量二〇〇ℓが昭和四十三年度中の実績で三〇七ℓ、一日最大給水量五二〇六ℓと施設能力を大幅に超え一時断水等の事態を生じたため昭和四十四年度より五ヶ年計画で上水道施設の第一回拡張工事を施行するにいたった。

この拡張工事は施設能力一〇〇〇ℓで一人一日五〇〇ℓの給水を目標とし、現在工事は予定通り進行中である。

即ち四十四年度には取水ポンプ一台を購入し更に、ろ過池及び沈でん池、薬品混和池を各々一池新設し、施設能力を八八〇ℓに増強、四十五年度には沈でん池一池増設、配水池建設用地を取得し四十六年度の初期の完成を目標に取水主管の建設に着手し、四十六年度には主管の完成と相まって取水ポンプを一台増加し、取水の安定を計った。更に四十七年度以降においては、ろ過池一池、配水池二池を建設し施設能力を一〇〇〇ℓに増強し給水の円滑を計るものである。そしてこれらの工事に

要する費用は約四億八千万で、その資金の九割以上を企業債に依存するもので、施設の整備は給水の安定に相反し資金難を招き、水道料金に及ぼす影響も大きいものと思われる。

税 務 課

●村農民税第四期分
納期 十二月二十五日
納付書を持参して部落(町内)の納税組合長さん宅又は銀行・農協にお忘れなく納付して下さい。
●鹿車したバイクの登録の返納に
ついては
バイクなどを廃車したときは標識ナンバーを取りはずして税務課にその都度返納して下さい。
●昭和四十六年度所得税の青色申告決算と年末調整説明会日程
とき 十二月九日 午後一時
ところ 大野町商工会
営業業青色申告者関係の所得税青色申告決算と年末調整説明会がありますからご参集願います。

役場前に公衆電話が

ダイヤルで

市外通話も可能

このたび電信電話公社では、役場前に青色公衆電話を設置しました。すでに十月二十七日より開通しておりますので、電話のエテケフト・マナーを守り気軽にご利用下さい。

- 市外に通話する場合
- 一、受話器をはずして、十四玉四一五枚入れてダイヤルする。
- 一、ダイヤルは市外局番・市内局番・加入者番号の順にまわす。
- 一、通話が切れる三十秒前になると(ピー)という予報音がでるので通話を続けたい場合は十玉五を入れて下さい。十四玉は全部で十個入ります。
- 一、話し終り、受話器をかけるにあたって十玉五は戻ります。

「タバコ」は村内のたばこ屋さんで買います。